

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 212 号	氏名	アベナ アンポンサー カリカリ
学位審査委員	主査	黒田 直敬	
	副査	中島 憲一郎	
	副査	中村 純三	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、紫外線照射を利用する化学発光分析法を開発、駆使して、抗マラリア薬およびその代謝物の高選択的かつ高感度な生体試料分析法の確立を試みたものであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>高速液体クロマトグラフィー／化学発光検出法の適用範囲を広げる目的で、分析システムへのオンライン紫外線照射の導入を考案し、対象とした抗マラリア薬（アルテミシニンおよびハロファントリン）の生体試料分析への適用性およびその性能、実用性を解析・評価したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で構築した分析システムを用いて、抗マラリア薬の生体試料分析を試みた結果、選択的かつ高感度な抗マラリア薬およびその代謝物の定量が可能となり、今後の薬物血中濃度モニタリング（TDM）や代謝物分析への展開が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は分析化学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			